

マニュアル実践活用プロジェクト

今までの成果と今後の取り組み

～マニュアル活用から教材作成へ～



プロジェクトメンバー

前田康裕、上谷典秀、中條敏江、西村文成、井口 巖、
山本直樹、田中龍三、安富直樹、谷口一登、三和史朗、
河崎 睦、江守恒明

なぜ、マニュアルか？



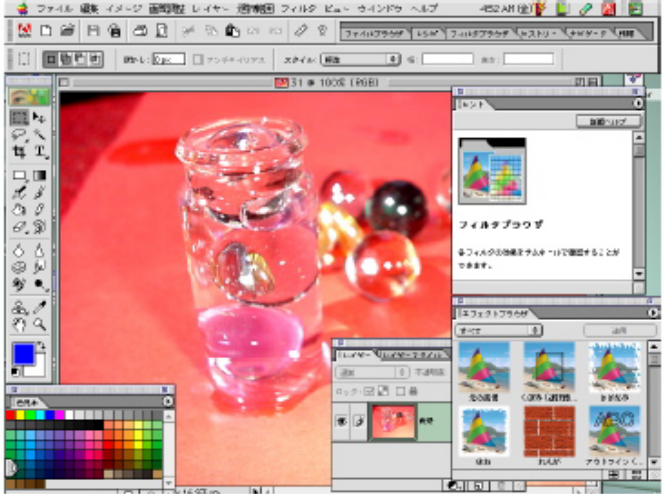
ソフトの基本操作が分からない
教師もソフトが分からない
操作に追われて、表現に集中できない



操作が分かるので、表現に集中できる
教師は、操作以外の部分で指導できる
マニュアルによって発想が豊かになる

初期の取り組みと考察

フォトショップエレメンツ-1
フォトショップ エレメンツ 入門編



フォトショップ・エレメンツを使うと次のような画像の処理ができます。

- 1、画像をくっきりさせる
- 2、明るくしたり、暗くしたりする
- 3、画像の色を変化させる
- 4、カラーの画像を白黒の画像に変える
- 5、カラーの画像をモノトーンの画像に変える
- 6、画像の必要な部分だけを切り抜く
- 7、画像の大きさを変える

- ソフト入門編
- ソフトの基本操作を解説
- 初心者には有効
- 目的に応じた「方法」が分かりやすい
- 機能から発想が促せる
- 方法だけでは、実際の授業には使いにくい
- 途中でページを増やしにくい
- 増やせば増やすほど市販のマニュアルと変わらなくなる

フォトショップエレメンツ「〇〇の気持ち編」-1
「〇〇の気持ち」編

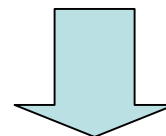


身の回りの「物」の気持ちを想像したアニメーションを作ってみましょう。

- 1, 身の回りの「物」の写真を撮影する
- 2, 線を入れたり変形させたりして、表情をつける
- 3, 最後にセリフを入れて、気持ちを表現する
- 4, 5つ程度のレイヤーにまとめる
- 5, アニメーション形式で保存する

授業実践マニュアル 作品制作の手順を解説

- 特定の授業実践に使える
- 誰でも追試可能



2003年度の取り組み

発想支援マニュアル
授業実践マニュアル

授業実践マニュアル

教師用

児童用

授業実践マニュアル「世界に1つのマイTシャツを作ろう！」1

1. 授業単元 「世界に1つのマイTシャツを作ろう！」

2. 教科 国語工作科、総合的な学習の時間
 3. 1～6年（「クラブ活動」でも可能）
 4. 使用アプリケーション Adobe Photoshop Elements（アドビフォトショッップエレメンツ）

5. わらい


- 自分のイメージを生かし表現したものを身に付けて、作品を発表することができる。（国工）
- 自分が表現したいものをTシャツのどこにつけるのかでイメージが変わることを実感し、造形の美しさを知る。（国工）
- 日常生活を豊かにするものを、自分たちの手で作っていこうという意欲を育てる。（国工・総合）

6. 活動の流れ

① Adobe Photoshop Elements（アドビフォトショッップエレメンツ）を起動する。
 ② 新規作成をクリックする。（画面の大きさを決める。）
 ③ 絵を描いていく。（写真を加工する。）
 ④ 【保存】をクリックして、作品をまず保存する。
 ⑤ 【プリントプレビュー】で印刷画面を確認する。
 ⑥ プリント紙への印刷では、「左右反転」させる。（プリンターによっては、「アイロンプリントペーパー」を選択するだけで、OK！）
 ⑦ Tシャツにプリントして完成！

7. 授業のコツ

- 作品に、フィルタをかけたり、フォントを変えたりするだけで、様々なイメージが表現できる美しさを実感させる。【団体演技のイメージで、色や文字の色を変え「編織構成力（デザイン力）」が磨かれる。】
- アイロンプリントでは、紙の厚さは、5mm ほどを預し、切り抜いていく。十分熱したアイロンで体重をかけながら、転写していく。型い合の方がきれいにつく。
- お祭り向きのフォントが、株式会社丸岡白鳥印刷 <http://www.hakusya.com/> で公開されている。これを使えば、同じ漢字でも、イメージの広がりや期待でき、はっぴやうちわを飾る文字になる。



【授業実践者（マニュアル作成） 安富美樹 横浜市立東希望が丘小学校】

授業実践マニュアル「世界に1つのマイTシャツを作ろう！」2

① エレメントを起動する。
 ② 【ファイル】→【新規】をクリックする。（画面の大きさを決める。）

新規

ファイル名: 名前未設定1

プレビュー: OK

選択したサイズ: 1000x750

幅: 1000 px

高さ: 750 px

解像度: 72 pixels/inch

カラーモード: RGB カラー

内容: 空白 背景色印 模様印

1

A4の用紙で、4人分の作品を作るならば、縦 600×横 1100 程度にする。
 数値が、できあがりを選定し、画面の大きさを決めておく。

③ 文字や絵を描いていく。（写真を加工する。）

名前未設定1 * RGB (CMYK)

2

すべてを複製

カーブ
ゴースト
ペースト
消去

アンチエイリアスオフ
アンチエイリアスオン

文字
枠線
ワープロテキスト...

文字フォントをイメージに合わせていると試していくよう勧告する。写真の加工では、フィルタを試していくが、「1段階もどる」ボタンを何度も押せば、元の画像にすぐに戻れることを伝え、安心感を与えておく。

ワープロテキスト

3

文字を複製させるときは、【ワープロテキスト】を選択し、いろいろなスタイルから、自分のイメージに合うものを選ぶ。

リニアライズ

スタイル: 無し

レイアウト: 無し

レイアウト: F5 F6 F7 F8

レイアウト: 両側 (下向き) 両側 (上向き)

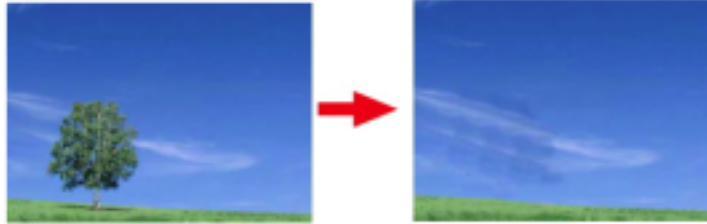
印刷: 印刷 複製 上層

印刷: 印刷 複製 印刷

発想支援マニュアル

ものを消してしまおう

Adobe Photoshop Elements (アドビフォトショップエレメンツ) 2.0



1. 写真を準備する

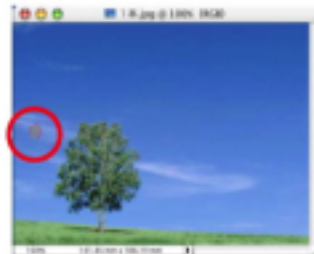
できるだけ背景が
すっきりしたものがいいです。



2. 「コピースタンプツール」を選ぶ



3. altキー（マッキントッシュはoptionキー）をおしながら、コピーの元になる部分として背景を選ぶ



4. コピー元の部分を選んで、少しずつ背景をコピーしながらものを消していく



マニュアル作成 前田康裕 熊本大学教育学部附属小学校

画像を合成しよう2「ぼかして切り取って」

Adobe Photoshop Elements (アドビフォトショップエレメンツ) 2.0



1. 合成する元の画像を開いて合成したい部分を選択する

ツールボックスから「楕円形選択ツール」を選びます。
四角い形に切り取りたいときは「長方形選択ツール」を選びます。



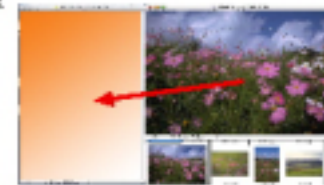
上のメニューから「ぼかし」の部分を選択しておきます。
この数字を大きくすればぼかしの程度も大きくなります。



合成したい部分を囲んで選びます。
まわりに点線が出てきます。

2. 背景に合成する

ツールボックスから移動ツールを選びます。



合成したい画像を背景にドラッグします。



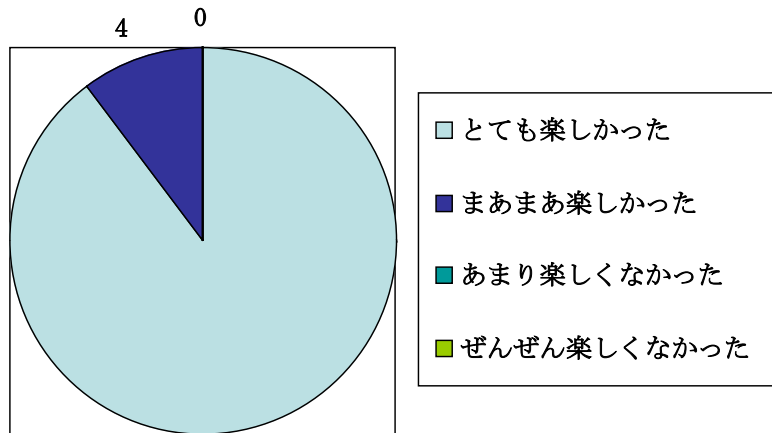
真ん中を動かせば位置を変えられます。
角を動かせば大きさが変えられます。

マニュアル作成 前田康裕 熊本大学教育学部附属小学校

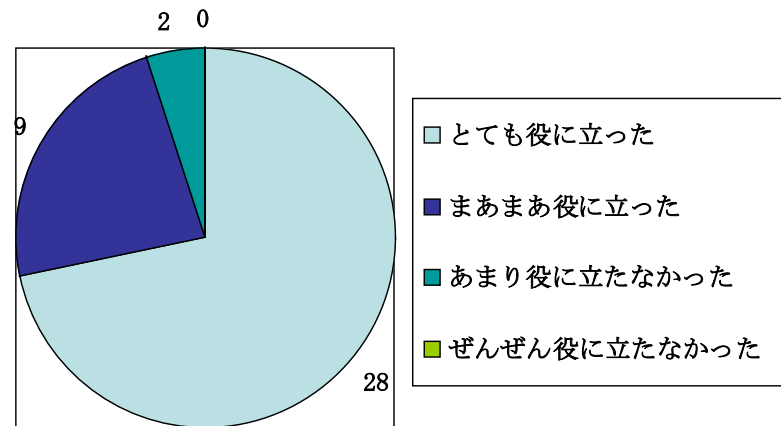


効果 (発想支援マニュアル 平成15年10月16日4年3組39名)

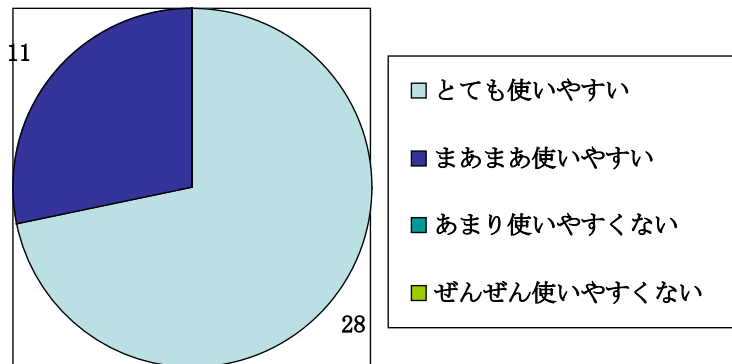
1, ポスターづくりは楽しかったですか？



2, マニュアルは役に立ちましたか？



3, フォトショップエレメンツは使いやすかったですか？



2の設問で

「役に立った理由」としては「**分からないときに見ることができる**」が多数を占める。

「あまり役に立たなかった理由」としては「『**間違った時にこうする**』というマニュアルがほしい」という意見があった。

共有化

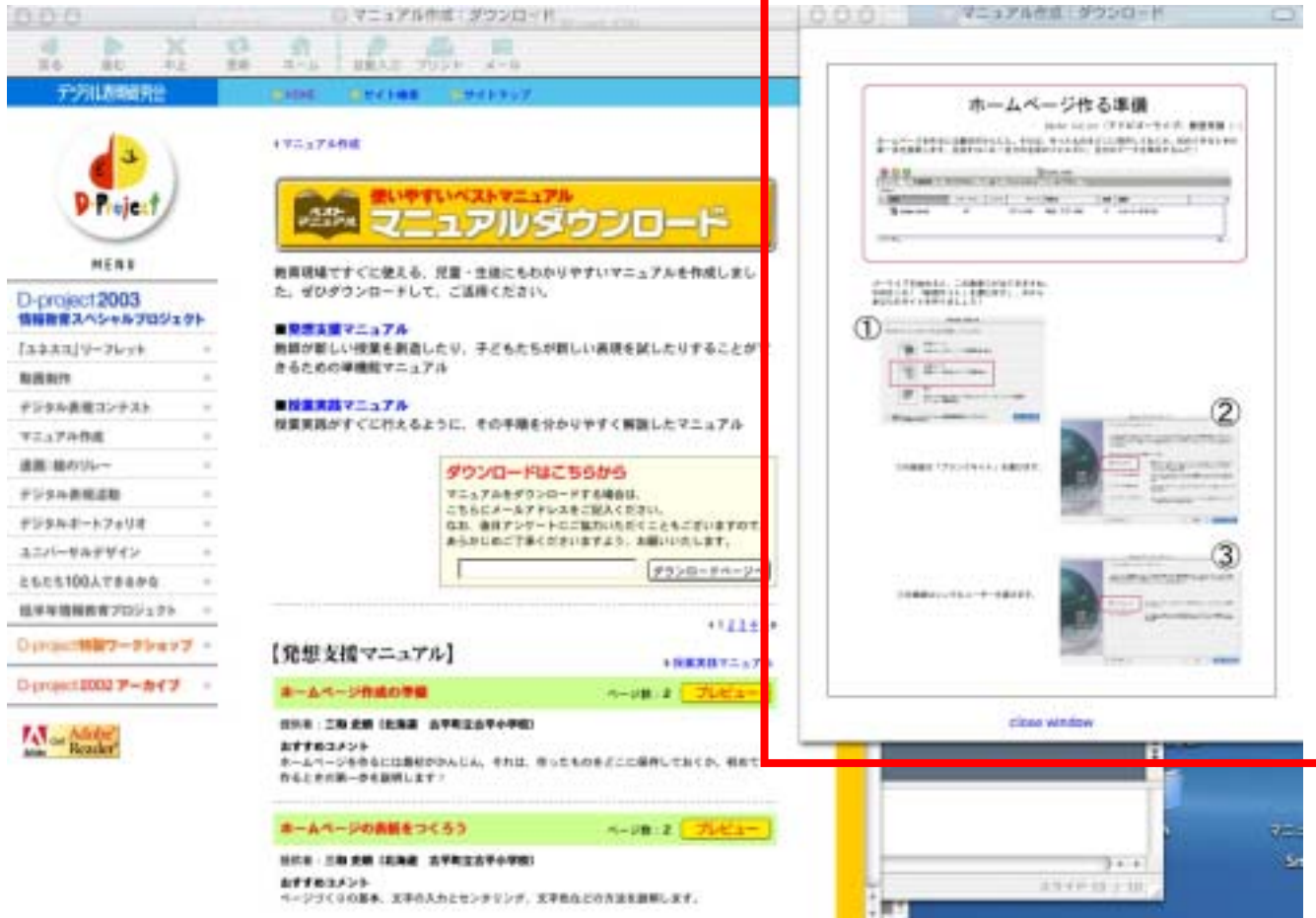
- 発想支援マニュアル114本
- 授業支援マニュアル22本
- 合計136本

The screenshot shows the homepage of the D-project 2003 website. At the top, there is a navigation bar with icons for home, search, and other functions. The main header features the D-project logo and the text "2003だよ!" and "つくろう、ニホンの教育フューチャー。". Below this, there is a section for "D-project ワークショップ" and "情報教育スペシャルプロジェクト". The page is filled with colorful graphics and text, including a "MENU" section on the right side. At the bottom, there is a footer with the Adobe logo and the text "Supported by Adobe".

The screenshot shows a page from the D-project 2003 website titled "マニュアル作成". It features a large yellow banner with the text "使いやすいベストマニュアル マニュアル作成". Below the banner, there is a "MENU" section with a list of links: "D-project 2003 情報教育スペシャルプロジェクト", "【エネスコ】リーフレット", "動画制作", "デジタル表現コンテスト", "マニュアル作成", "漫画・絵のリレー", "デジタル表現活動", "デジタルポートフォリオ", "ユニバーサルデザイン", "ともたも100人できるかな", "低学年情報教育プロジェクト", "D-project 開発ワークショップ", "D-project 2003 アーカイブ", and "Adobe Reader". The main content area contains text about manual creation, including a section titled "1) 授業実践マニュアル" and "2) 発想支援マニュアル". A blue box highlights "ダウンロードはこちら" (Download here). At the bottom, there is a table with the following data:

年	プロジェクト企画 (冊数)
1999	発想支援マニュアル締め切り (冊数)
2000	授業実践マニュアル締め切り (冊数)
2001	マニュアルダウンロードサイト (冊数) オープン
2002	プロジェクト企画 (冊数)

プレビュー機能



ダウンロード
しなくても内容
が見られる
プレビュー

成果

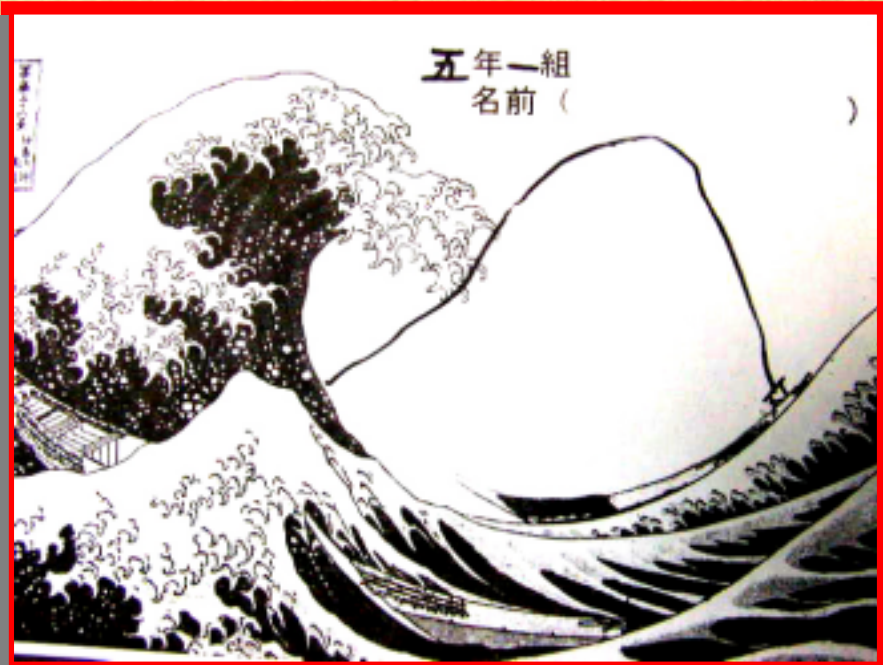
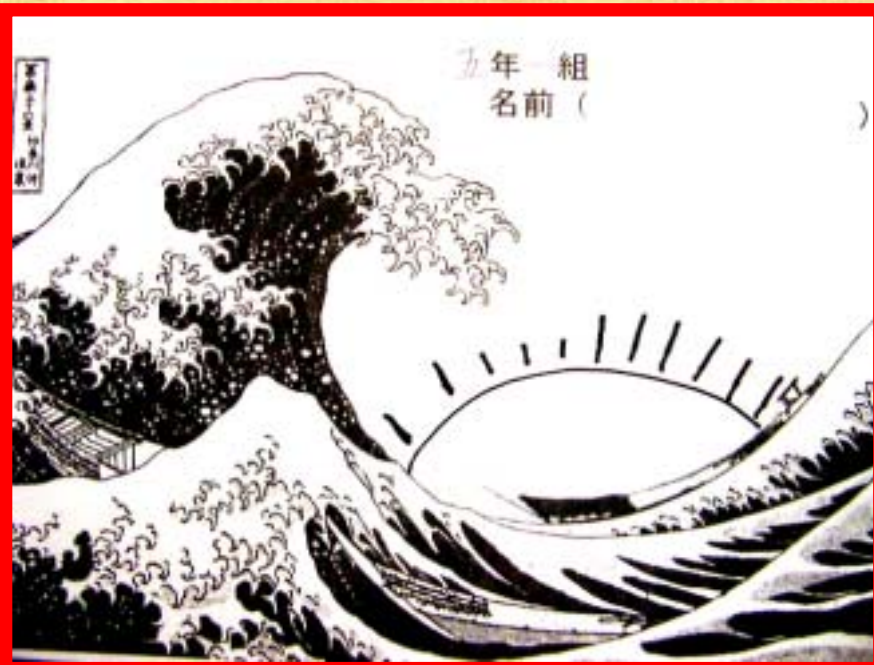
- 児童の発想を表現につなぐ道具
- 「教師の指導」を支援する教具
- 教師の実技研修の資料
- 複数教師による教具開発と共有化



来年度からの取り組み ～教材作成プロジェクトへ～



本プロジェクトでいう
「教材」とは？



• 葛飾北斎 「神奈川沖浪裏」



雷轟千六景 神奈川沖
波裏

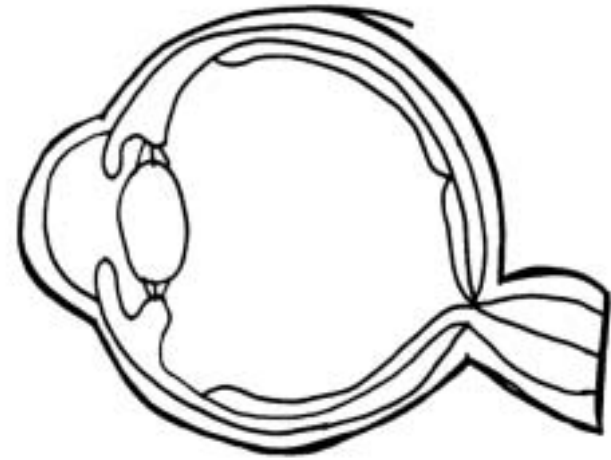
丁未江戶二年

•葛飾北斎 「神奈川沖浪裏」

視聴覚資料として「版画ローラー」

QuickTime[®] 2
Sorenson Video 3
© 1999 Apple Computer, Inc. All rights reserved.

素材として～加工可能～



予想される成果

- デジタルコンテンツ開発による**授業研究**
- D-projectサイトの広がり
 - 通常の授業で使えるコンテンツの公開
- 教師による自作コンテンツ開発を促す
 - 「D-projectマニュアルサイト」の活用

本日のプロジェクト発表会の肝

子どもの学びをデザインする

前半～作品ができればいいっていうもんじゃーないんだよ～

後半～教師の役割を明らかにしよーじゃないか～

マニュアルを使うことが目的ではない。

より発想を促したり、満足感を高めたりするための授業づくりのポイントがあるはず。

このことを明らかにしたい。